



麻酔とは



麻酔科 部長

おいかわ ふみお
及川 文雄

麻酔科 副部長

とう ほんしょう
鄧 本祥

幼い子は怪我をして手当てを受けるとき、痛みのため手を振り払ったり、怖くて泣いたりします。それは、嫌な刺激から逃げて体を守ろうとするストレス反応(防御反応)の表れでもあります。十分な麻酔なしで手術を受ける場合は、痛みが大人にも我慢できる限界を超え、不安、心拍数、血圧や呼吸が増え、筋肉が緊張し、じっとすることができなくなり、ストレス反応が高まります。病気を治すためにお腹を開けたり、骨を板などで固定したりする手術は、身体にとっては重症な外傷と同じように命を脅かすものとしてストレス反応を起こします。こうした手術に伴う不利な反応を安らげる医療のプロが、麻酔科医です。

は手術の前に患者さんを診察して病歴や全身状態を把握し、主治医と相談して最も安全な麻酔計画を立てます。手術中は、痛みを取り、体の動きなどの過剰な反応を防ぎ、必要に応じて鎮静薬(眠るお薬)を使うことがあります。患者さんの状態を観察しながら、麻酔薬を投与し、循環、呼吸、輸液、体温などの管理を行います。そして手術後は、麻酔からの回復や痛みの緩和にも携わっています。当院では二名の麻酔科医(麻酔科指導医と麻酔科専門医)が常勤しており、手術麻酔の安全性と質の向上に努めています。

麻酔科医は、範囲が小さく表面的な局所麻酔以外の全身麻酔と区域麻酔(硬膜外麻酔、脊椎麻酔、末梢神経ブロック)を担当しています。全身麻酔は、鎮静薬(眠るお薬)を使うため意識がないうちに手術が終わりま



手術室内の生体情報モニタと麻酔器 (左から) 鄧副部長、及川部長

療でも麻酔が必要となることです。体を動かさずにCTやMRIという画像検査を受けられない患者さんに対して、鎮静薬(眠るお薬)で眠らせるだけで検査を終わらせることができます。鎮静薬は適正な量を投与しなければならぬため、鎮静薬に精通している麻酔科医が担当しています。当院の麻酔科医はこのような手術室外の麻酔も行っています。

看護の現場から。vol.25

褥瘡対策委員会

西2病棟 看護師長 坂野 晶子

当院では、入院された患者さまに対して褥瘡に関する危険因子評価を行い早期に危険因子の発見と発生予防対策に取り組んでおります。今回は、「褥瘡」II床ずれについてQ&Aでみなさんに基礎知識をご紹介します。



Q 褥瘡とはなんなのでしょうか？

A 一般的に「床ずれ」ともいわれています。寝たきりなどによって、体重で圧迫されている場所の血流が悪くなったり滞ること、皮膚の部が赤い色味をおびたり、ただれたり、傷ができてしまつてい

褥瘡(床ずれ)について

Q 褥瘡はなぜできるのでしょうか？

A 私たちは、無意識のうちに眠っている間は寝返りをうつたり、長時間椅子に座しているときはお尻を浮かせるなどして、同じ部位に長時間の圧迫が加わらないようにしています。このような動作を「体位変換」といいます。

しかし自分で体位変換ができない方は、体重で長時間圧迫された皮膚の細胞には十分な酸素や栄養が行き渡らないため、褥瘡が起きます。

Q 褥瘡はどんな人になりやすいのでしょうか？

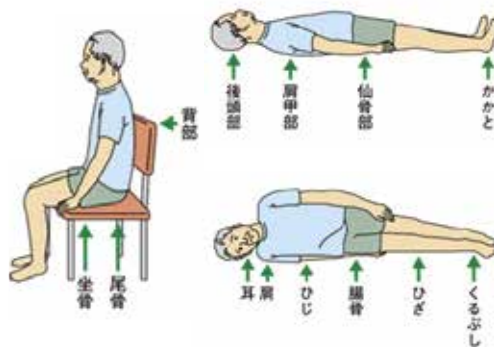
A 自分で体位変換ができず長期間寝たきりで、栄養状態が悪い、皮膚が弱くなっている(高齢者、排泄物や汗により皮膚のふやけがある、むくみが強い、抗がん剤やステロイドなど薬の副作用で免疫力が低くなっている)人が、圧迫だけでなく摩擦やずれなどの刺激が繰り返されている場合は褥瘡になりやすいといえます。

Q 褥瘡になりやすい体の部位はどこなのでしょうか？

A 骨が突きでている部位は、褥瘡ができやすくなります。褥瘡のできやすい部位は、寝ているからだの

向きや姿勢によって違ってきます。

図1

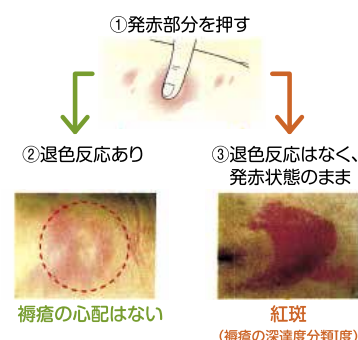


Q 褥瘡の前ぶれはどのような状態でしょうか？見分け方はあるのでしょうか？

A 褥瘡のできやすい部位の皮膚が赤くなっている場合は注意が必要です。それが褥瘡であるのかを確かめる方法として、人差し指で赤くなっている部分を軽く3秒ほど圧迫し、白っぽく変化するかどうかを確認する方法があります(指押し法)。押したときに白く変化し、離すと再び赤くなるものは褥瘡ではありません。押しても赤みが消えずそのままの状態であれば、初期の褥瘡と考えます。

図2

発赤の確認方法



Q 褥瘡かもしれないと思ったらどうしたら良いのでしょうか？

A 赤い色味をおびた皮膚が圧迫されないよう体位交換をします。また、体の下に手を入れて圧迫されないか確認するのもよいでしょう。圧迫をとても指押し法などで褥瘡の可能性があると考えられた場合は、医師または看護師に相談しましょう。

<http://www.jspu.org/jpn/patient/about.html#e-use>

当院では、褥瘡対策委員会が予防的対策の推進と創傷治療を行っています。入院される患者さまには危険予測ツール(OHスケール)評価を行い、状態に応じた予防的対策を実施しています。予防対策の一つに院内すべてのベッドマットレスは、寝心地と体圧分散性能を備えた「エバーフローマットレス」を導入しています。また、電子カルテ導入に伴い、NST栄養サポートチームとともリアルタイムに情報を共有することができるようになりました。褥瘡と栄養面でのサポート体制がチーム医療としてさらに充実することができました。今後も患者さまに安心していただける医療の提供に努めていきたいと思います。

医療技術

NEWS

vol.26

「ノロウイルスについて」

臨床検査室 技師長 木川 修一

臨床検査技師は、検査業務以外の仕事のひとつに医療関連感染（最近では院内感染という言葉を使わなくなってきました）対策に必要な感染情報の発信という仕事があります。

冬といえば牡蠣、牡蠣と言えどノロウイルスというくらい、このウイルスは有名になってしましました。ヒトに感染するノロウイルスの種類は、遺伝子型で分けると二十九種類もあります。

このウイルスはヒトの腸管細胞のみに感染して増殖するため、研究が遅れました。

ノロウイルス、その強力な感染力！

最新の知見によると、ノロウイルスは体内に100から1000粒子入ると感染すると言われています。感染した人から一日に2000万から四億の粒子が排泄されると推定されています。少しの量で感染し、体内で増殖し、大量のウイルスを排泄するのが特徴です。

ノロウイルスの魔のサイクル



感染したヒトから便や吐物に大量に排泄されたノロウイルスは、便器↓下水、浄化処理施設↓一部が浄化されず通り抜ける↓河川、海水↓プランクトンを食餌としている魚介類に蓄積（汚染）↓ヒトが食えるというサイクルを繰り返します。ノロウイルスはこのサイクルの中で、少しずつ進化していくと考えられています。

牡蠣に罪はない！



このサイクルの中で、二枚貝のひとつである牡蠣は、ノロウイルスに汚染されたプランクトンを食べて、中腸腺という臓器に蓄積しただけで、もともと持っているものではありません。牡蠣以外にもアサリ、ハマグリ、シジミ、ブラックタイガーなどからノロウイルスが検出されていますが、いずれも生では食べられておらず、加熱して食べられているので、ノロウイルスに汚染されている可能性はある食材としては、一般に広く知られていません。

ウイルスには構成する部品が二つのものと三つのものがある！



ウイルスを構成する部品は、ウイルス核酸とカプシドの二つのものと、これに加えエンベロープを持つものがあります。ノロウイルスは前者で、消毒薬剤に強く、後者の仲間にインフルエンザ

ウイルスがあります。

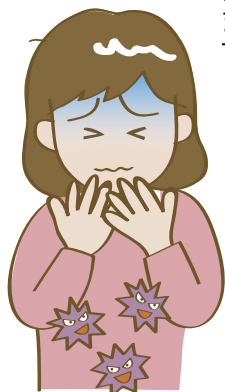
ノロウイルスのような部品が二つのウイルスを消毒するには、次亜塩素酸など強い消毒薬剤で消毒（不活化）するか、加熱する必要があります（吐物や下痢便の処理には、0.1%濃度の次亜塩素酸ナトリウムを使って下さい。処理は必ず使い捨て手袋で行い、処理が終わったらビニル袋に入れ口を縛って捨てます。）。

牡蠣などはノロウイルスによる食中毒を防ぐためにも、85から90度で90秒以上加熱して食べ下さい。

新型ノロウイルスについて



今シーズンは、今までの主要流行株GⅡ・4変異株から新規遺伝子型のGⅡ・17変異株が流行するのではないかと予想されています。



職

場

紹

介

26

放射線技術室

放射線技術室 技師長 安達 英俊



今回は放射線技術室を紹介し
ます。

放射線技術室は検査部門・治療部門・健診部門の3つの部門に分かれており、放射線技師12名、看護師2名、事務員2名の計16名で業務を行っております。

検査部門では、皆さんがよく思い浮かべる骨の写真や肺の写真などを撮る一般撮影（レントゲン撮影）装置、人体の断面画像を撮影するCT装置やMRI装

置、骨の密度や体組成を測定する骨密度測定装置など様々な機器を使い画像を提供しています。

また、手術室にもCT装置や血管を撮影するアンギオ装置があり、手術中のリアルタイムでの画像診断に対応しています。

近年の検査画像は撮影するのみでなく、コンピュータを使い、心臓や血管・骨などの3D（立体）画像や、内視鏡で見たような画像を作る仮想内視鏡など様々な描出が可能となっています。

治療部門では、放射線治療装置のサイバーナイフを使用し治療を行っています。サイバーナイフは、放射線発生装置がロボットアームに付いており、多方向から放射線を照射する装置です。患者さまのわずかな動き（0.1ミリの動き）を追尾し修正する事で、

必要な部位へ正確に高いエネルギーを集中して照射する事が出来ます。また、病巣周囲の正常な組織への照射を極力減らし、より効果的な治療を行うことができます。

健診部門では、健診センター3階で胸部撮影・マンモグラフィー（乳房撮影）・胃透視撮影を行っています。

マンモグラフィーは、女性の方に安心して受診して頂けるように、常に女性技師が対応しております。また、胃透視撮影は、11月より撮影装置を1台追加導入し、より多くの受診者さまが利用できるように致しました。

放射線技術室では、早期発見、適切な治療の手助けが出来るよう質の向上に日々努力しています。



知っ得!! 情報

第26回

「診療情報管理室」について

診療情報管理室 診療情報管理士 竹本 由香

診療情報管理室では、入院していた患者さまの診療情報で不備なものがないか内容を確認した後、その情報を管理・分析して情報開示や、病院経営、医学研究等に提供しています。

また、入院費の算定方法でもあるDPCの診断群が正確に分類されているか確認し、決定したデータを厚生労働省へ提出しています。今回はこの診断群分類について説明させていただきます。

DPCについて

当院では急性期病院として、厚生労働省から「DPC（診断群分類包括評価）」の対象病院に認可され、平成24年4月から入院医療費の計算方法をDPCによる包括払い方式に変更しています。

DPCとは、一般病棟に入院される患者さまの病状により、治療内容に応じた診断群に分類し、それに応じた一日当たりの包括点数を決定します。

そこに包括外と定められている手術・リハビリテーション・放射線等の点数と食事代を加算して請求しています。



DPCの対象患者とは

基本的には、一般病棟に入院される全ての患者さまが対象になりますが、以下の場合にはこれまで通りの出来高算定によって医療費を請求させていただきます。

- ・労災、自賠責保険を使用する方
- ・入院後24時間以内に亡くなられた方
- *入院期間が一定の期間を超えた場合、それ以降は出来高算定となります。
- *診断群分類した結果、最初から出来高算定となる場合もあります。
- *療養病棟や回復期リハビリテーション病棟に入院された方はDPC対象となりません。

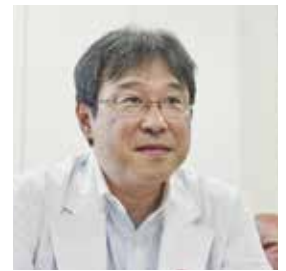
※平成28年診療報酬改定により変更となる場合があります。

院長から みなさまへ

第20回

年頭のご挨拶

院長 小森義之



新年をむかえ御挨拶させていただきます。

昨年は、ラグビーワールドカップでの日本代表の活躍、フィギュアスケート選手の活躍などスポーツ・文化面の明るい話題とともに海外でのテロ発生、安保健案、消費税増税、地球温暖化など我々の生活に直接的あるいは間接的に直面する問題も数々存在しています。一方医療面では、年々高齢化社会へ移行していますが、社会福祉費不足に伴う医療費削減が断行されつつあり、そのため慢性病棟削減方針など、この国の医療の将来象がまだまだ不透明な状態です。

当院ではここ数年で特定医療法人化、DPC導入、病院機能評価更新、健診センター増設、新しい医療機器の導入など肅々と病院機能の充実を行っ

てきました。さらに昨年5月には電子カルテを導入いたしました。患者の皆様には多大なご不便、ご迷惑をおかけしましたが、職員一同の努力で比較的にスムーズに導入できたと考えています。また、導入後安定した現在では、外来待ち時間、会計時間も短縮できております。

これでハード面の充実は一段落ですが、医学の進歩に伴って医療機器はどんどん進歩しており、将来に向けて今後もさらなる強化が必要となつてきます。また、これら施設を有効かつ有意義に使うためには医師をはじめとする人員確保、教育が必要となります。今後とも有能な医師、職員を集める努力を一層進めていきたいと考えます。

当病院は地域医療、高度医療とともに予防医療にも力を入れています。健診センターの受診患者さんも年々増加してきており今後健診センターのハード、ソフト両面での充実も必要と考えています。今後も現在の施設、人員を最大限生かして当院の理念である「患者さま側に立った全人的医療を目指します」を実践していき、地域の皆様のお役に立てるよう一層の努力をしてまいります。

第31回院内コンサート

RAKUDAチャイムクワイアによる

トーンチャイムクリスマスコンサート



平成27年12月12日(土)午後2時から外来ホールにて、RAKUDAチャイムクワイアの皆さんによるトーンチャイムクリスマスコンサートが行なわれました。

トーンチャイムは、ハンドベルのように数人で音を分担して音楽を演奏する楽器です。細長いアルミ製の筒にハンマーがついて手に持って振ることで、ハンマーが筒に当たり共鳴して音が出る仕組みになっています。美しい音色は心を癒します。今回は、クリスマスにちなんだ『赤鼻のトナカイ』や他にも『星影のワルツ』、『ふるさと』等、心温まる演奏をしていただきました。入院中の方々にも季節感を感じていただけたのではないのでしょうか？

総合青山病院では定期的に院内コンサートを開催しています。次回もぜひご参加ください。

広報委員 藤澤 大



情報ステーション

Aoyama
Hospital
Information
Station

健康教室のお知らせ

第5回

『放射線・放射線検査について知ろう』

参加
無料

講師・
内容

「放射線被ばくについて」

総合青山病院 放射線技術室 技師長 安達 英俊

「放射線画像技術について」

総合青山病院 放射線技術室 中村 文洋

平成28年2月23日(火) 14:00～
総合青山病院 健診センター4階 多目的ホール

事前に健診センターへお申込みください。
TEL:0533-73-3784(直通)

第32回

院内コンサートのお知らせ

NPO法人ぴあサポートわかば会による

～医療者と患者のハーモニー～
オーボエコンサート
みんなで歌おう

日時

平成28年2月20日(土)
14:00～

場所

1階 外来ロビー

参加

自由(無料)



健診のお知らせ

もっと健康。ずっと元気。
**1年に1度は健診を
受けましょう。**



総合青山病院 健診センター 問合せ▶0533-73-3784

総合青山病院

検索

遊びの 広場

数独



数独の解き方

1. タテ9列、ヨコ9列のそれぞれに1～9までの数字が1コずつ入ります。
2. 太線で区切られた3×3の枠内(マスは9コ)にも1～9までの数字が1コずつ入ります。
3. 従って、タテ、ヨコ、枠内で、同じ数字が重複して入ることはありません。
とにかく、算数無用、注意力の勝負、なるべくラクをして、かつスマートに解いていきましょう。

	3	8			4			
					2			9
4							5	6
			1				2	
		1			7			
6			3					
7					1			4
		9				3	8	
3		2						1

外来受診患者さま 男性より

ATMの前の血圧計ですが、いつも「位置がずれています」というメッセージが出ます。ちゃんと測れているのでしょうか？

ご意見ありがとうございました。該当の血圧計は肘を所定の位置に合わせることで、より正確に測定ができるようになっております。測定時に肘の位置を確認してみてください。また何度もエラー表示がでるようでしたらお近くのスタッフにお声を掛けて下さい。よろしくお願いいたします

ご意見&ご要望

ふれあい箱 の回答

たくさんの
ご意見ありがとう
ございます。

入院患者ご家族さま 女性より

トイレや洗面所にハンドソープを置いてほしい。

ご不便をお掛けしております。病室のハンドソープは諸事情により見合わせておりました。しかし、患者さまのご要望が多いことや院内感染の観点から設置をいたしました。是非ご利用ください。

貴重なご意見をありがとうございました。

お褒めの言葉

温かいお言葉をありがとうございました。
今後も、患者さま側に立った医療を目指します。

入院患者ご家族さま 女性より

10月初めから母がお世話になりました。2か月間の入院で毎日夕方に通うたび、この病院の雰囲気の良い、スタッフの皆さんのにこやかな挨拶に心がホッとしました。病院に行く時間が夕食時になることが多いため配膳の方と顔を合わせることが多く、明るく入って来て挨拶をしてくださることがとても気持ち良かったです。

看護師さんはじめ、スタッフの皆さんが患者だけでなく家族への言葉かけをしてくださり思いが伝わり安心いたしました。色々お世話になりありがとうございました。

遊びの広場の解答

9	3	8	6	5	4	2	1	7
1	6	5	7	8	2	4	3	9
4	2	7	9	1	3	8	5	6
8	7	3	1	4	9	6	2	5
2	5	1	8	6	7	9	4	3
6	9	4	3	2	5	1	7	8
7	8	6	2	3	1	5	9	4
5	1	9	4	7	6	3	8	2
3	4	2	5	9	8	7	6	1

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

皆さん良い年をお迎えになられましたか？

2015年を振り返ると北陸新幹線の開業や日本人2人のノーベル賞受賞、フィギュアスケート選手の活躍など、沢山の嬉しいニュースに沸く一方で、世界のあちこちでテロが起こり日本人を含む多くの人が犠牲になるなど、不安や恐怖に怯えた一年でもありました。

今年は平和でたくさんの笑顔があふれる一年になることを祈ります。

さて、この広報誌「ふれあい」では、地域の皆さまに少しでもお役に立てる情報をお届けできるよう引き続き頑張っていきたいと思います。今年もよろしくお願い致します。

病院の理念

患者さま側に立った全人的医療を目指します

基本方針

地域の中核病院として安全で質の高い医療に努めます
患者さまが安心出来るゆきとどいた診療を提供します
患者さまに信頼されるゆきとどいた看護を提供します
患者さまに満足されるゆきとどいたサービスを提供します
患者さまがやすらげる快適な環境を提供します

患者さまの権利

1. 適切で質の良い医療を受ける権利を有します
2. ご自分の医療の内容について知る権利と説明を受ける権利を有します
3. ご自分の医療の内容について自由に選択し決定する権利を有します
4. ご自分の医療について他の医師の意見を聞く権利を有します
5. 人格を尊重されプライバシーを保護される権利を有します
6. ご自分の診療録の開示を求める権利を有します